

公開講座 親子のための虹色コンサート ～ジンタン、タンタタン♪～

幼児教育学科 教授 木下 由香

ピアノの演奏を聴いたり、音楽にあわせて体を動かしたり、親子で楽しい時間を過ごしていただきたいと思い企画しました。

日時：令和元年11月3日(日) 10:30～11:30

会場：仁愛女子短期大学 F館1階ホール

参加者：15名

まずはウォーミングアップとして手作りのマラカスや色とりどりのリトミックスカーフを使って、音楽に合わせて体を動かしました。手作りのマラカスはガチャガチャの容器を利用しており、透明で中身が見えるようになっています。小豆やビーズなどの材料が様々な配分が入っているため同じ音色のものはありません。子どもたちは手に取ったマラカスを自分の耳に近づけて音色を味わっているようでした。また、オーガジー素材のスカーフは手触りが柔らかく、形状も多様に変化するため子どもたちはもちろん本学の学生もこれを使った活動は大好きです。色彩も美しく豊かで見た目も癒されるようです。



その後は、「ワニがくるぞ～」の新聞紙ゲームをしました。新聞紙を自分の安全地帯に見立てて、タンバリンを鳴らしてワニが来るのを知らせます。子どもたちはゲームのルールを良く理解し、タンバリンの音を注意深く聴いて音が消えた瞬間、即座に新聞紙の島に乗ることができました。その新聞紙をさらに小さく折って安全地帯がだんだん小さくなくても、自分の体のバランスをとりながら島に乗ることもできました。また、新聞紙を破く活動に展開した際には、ゆっくり破いたり速く破いたり、速度に変化をつけることで音にも変化がつくことを気付いていただけたかと思います。



ゼミ生2名によるピアノ演奏の披露もありました。曲にあわせて参加者全員で踊ったりして楽しみました。

今回は音楽にあわせて体を動かし、身近にあるもので音を感じていただくような活動を行ってみました。日頃の生活の中で音楽や音に意識を持って過ごすことが子どもの感性を育成するのに大切であることを、参加者の皆様感じていただけたら幸いです。

